

令和4年度
入学試験問題

— 1 期 —

国語

令和4年1月16日

いわき准看護学校

一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。なお、設問の都合から各形式段落に番号を付けている。

①私は三年ほど前、地下鉄に走りこむように乗ってきて、四、五人分の席をなりふり構わず取った人を見て、近頃には珍しい光景だな、と思った。ところが、やがてそこに仲間が乗り込んできて、すわってしゃべり始めたのをきいていたら、彼らの言葉は日本語ではなかった。どこの国の人だった、というのは書かないでおくが。

②日本人も、四十年前はそういうふうだったのだから、他国の人を笑うことはできないと思うのだ。この先、どんな理由でまた席取りに夢中にならないとも限らないのだし。

③ただ、この事例から言えることはこうである。文化には、国ごとの差異もあるし、国ごとの到達レベルの違いというのもあるようだ。その到達したレベルが高いことを、洗練されている、と言うのだろう。

④日本人はこのところ、経済的豊かさを背景に、かなり洗練されてきたと思う。スポーツ観戦時の、オウエンのしかたに余裕が出てきたことはすでに述べた。それから、雨の日の電車の中で、濡れた傘をすぐ束ねるようになったのもそういう洗練だと思ふ。

⑤しかし、外国のレストランなどで人とぶつかりそうになった時、とつさに詫言の言葉が出てこないところは、まだ洗練されていない。あれは、英語が話せないというコンプレックスが理由なのだと思うが、つい日本人は、卑屈に笑ってその場をごまかそうとするのである。英語など話す必要はなくて、日本語でちゃんと「ごめんなさい」と言えればいいと思うのだが。

⑥ところが、海外旅行を楽しんでいるような欧米人は、ごく当然のように「ソーリー」と言う。こんなに何気なく頻繁に詫言のかと驚くほどだ。エレベーターから同時に降りようとした時や、ほんの少し肩が触れただけで、「ソーリー」と言うのだ。

⑦アメリカ人は「アイ・アム・ソーリー」とは絶対に言わないぜ、という話がある。私もよく聞いたものだ。ソシヨウ社会で、すぐ裁判沙汰になるアメリカでは、「アイ・アム・ソーリー」という、自分の非を認める発言をしませんでした。それは絶対に「ソーリー」と言わない、という説だ。

⑧だが、あれは嘘である。確かに、自動車事故をおこしてしまった時は、その理由から「アイ・アム・ソーリー」とは言わないだろう。X、肩が軽くふれあってしまった時には反射的に「ソーリー」と言うのだ。人の前を横切る時には「イクスキューズ・ミー」や「パードン」と言う。人が何人も集まっている場所では、そのような衝突を避ける言葉を互いにかけてあうのがあちらの文化なんだなあ、と思うほどだ。いろんな国や民族の人が混じって生活しているからだろう。

⑨ところが、日常生活の中では外国人を見ることもあまりない日本人は、無言で、時にはテレ笑いで、その場を切り抜けるのだ。そして外国では、Y という思いからますます何も言わなくなり、ニヤニヤ笑ってごまかすことが多い。

⑩これはまだ、日本人が洗練のレベルに達していないことの一例だと私は思う。

『行儀よくしろ。』（清水義範著）より

問一 傍線部①、②、⑤の指示内容として最も適切なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① ア 地下鉄に走り込むように乗ってくるようなさま
イ 席をなりふり構わず取るようなさま
ウ すわってしゃべり始めるようなさま

- ② ア 経済的豊かさを背景にした洗練
イ スポーツ観戦時の余裕に見られる洗練
ウ 濡れた傘をすぐ束ねる洗練

- ⑤ ア 話がある
イ 私もよく聞いた
ウ 「アイ・アム・ソーリー」

問二 二重傍線部a、b、cのカタカナを漢字に直し、漢字には平仮名で読みを答えなさい。また、二重傍線部cの意味として最も適切なものを、次から選び記号で答えなさい。

- a 正直で謙虚であるため、自分を飾らないでいる様。
b 内面の暗い部分をかくして、表面上は陽気である様。
c の意味
イ 自分を必要以上におとしめて、いじけている様。
ウ

問三 傍線部③とあるが、その理由を、P欄に第5段落から十七字で抜き出し、また、Q欄に第9段落から二十二字で抜き出し、次に続く言葉に合うように答えなさい。

P(十七字) があるから。
Q(二十二字) から。

問四 筆者は傍線部④の背景にある欧米の「文化」をどう見ているか。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 衝突を避ける言葉をお互いにつけ合う文化。
イ 海外旅行を楽しむ経済的余裕のある文化。
ウ 自分の非をなかなか認めようとする文化。
エ 人を押しつけても自分を優先するような文化。

問五 空欄Xに入る最も適切な言葉を選び、記号で答えなさい。

- ア しかも イ だけど ウ まして エ だから

問六 空欄Yに入る最も適切な言葉を選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人が少ない イ 旅の恥は気にしない
ウ 自分は外国人だ エ 言葉が通じない

二 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

ある時、日輪と風との間に、いづれの方が強からんとせんさく有りて、争論果てしなし。さらば、とかう言はんより、今ここに通りかかる旅人に雨衣を脱がせたらん方、力勝れりと定めんと、風まづ術を施して、寒くはげしき嵐を起せば、旅人はかたく雨衣をおさへ、吹き取られじと身に纏へり。その時、日輪雲間より出て、赫々たる和光を放ち、霧を払ひ寒さを除けば、旅人は暖気を快しとし、日のますます照らすに従ひ、つひに暑さに堪へかねて、覚えす雨衣を脱ぎすたりと。そこで日輪の方勝ちたり。

暴を以て事を遂げ、威を以て人を伏せんより、もの柔らかに切論して、人の心緒を解くにしかず。

※赫々たる和光||照り輝く柔らかな光
『通俗伊蘇普物語』より

問一 傍線部①の訳として最も適切なものを、次から選び記号で答えなさい。

- ア どちらの力もからまわりだろう
イ どちらの力がつよいのだろう
ウ どちらの力が強いだろうか

問二 波線部a、b、cの意味として最も適切なものを、次から選びそれぞれ記号で答えなさい。

- a「とかう」 ア あれこれ
イ どうして
ウ ともに

- b「覚えす」 ア 無理矢理
イ こつそりと
ウ いつの間にか

- c「にしかず」 ア くと同じではない
イ くにしたことはない
ウ くにしても困らない

問三 傍線部②の理由として最も適切なものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 旅人が、太陽と風のいさかきを無視したかったから。
イ 風が、寒くはげしい嵐を起したから。
ウ 太陽が、はげしい風を吹かせたから。

問四 二重傍線部「従ひ」の読み方を、すべて現代かなづかいのひらがなで答えなさい。

うらたじくへ

三

敬語には、ア尊敬語、イ謙讓語、ウ丁寧語の三つの用法があるが、次の傍線部は、それぞれ何に当たるか、記号で答えなさい。

- ① お客様は何時にいらっしゃるのか。
- ② こちらからまいります。
- ③ 先生は私の話を聞いてくださった。
- ④ 友人の純子さんが来ました。
- ⑤ 先生にお目にかかった。
- ⑥ 私の絵をご覧になって下さい。

四

次の傍線部の漢字の読み方を、ひらがなで答えなさい。

- ① 友人関係の葛藤に悩む。
- ② 一週間の自宅謹慎を命じる。
- ③ あの人は清廉潔白の人といわれる。
- ④ 責任を他人に転嫁する。
- ⑤ 舗装工事が完全に終わった。
- ⑥ 首相の遊説日程が決まる。

五

次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 運動場をカクチヨウする。
- ② シンセンな野菜を食べる。
- ③ 食堂でダイキンを支払った。
- ④ 友人の裏切りにフンガイする。
- ⑤ ロボウに転がる石。
- ⑥ 戦乱で都がコウハイする。

六

次のことわざ・慣用句の空欄に入る語を後の語群から選び、記号で答えなさい。

- ① 悪銭（ ）につかず
- ② （ ）降って地固まる
- ③ 石の上にも（ ）年
- ④ （ ）の不養生
- ⑤ 一を聞いて（ ）を知る
- ⑥ 一寸の（ ）にも五分の魂

七

次の熟語の意味を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 臥薪嘗胆
- ② 鶏口牛後
- ③ 羊頭狗肉
- ④ 意気投合
- ⑤ 起承転結
- ⑥ 言語道断

語群（ア十 イ三 ウ虫 エ医者 オ身
カ雨 ）

意味

- ア 小団体でもその長となる方がよい
- イ 詩文などの構成法
- ウ 成功を期して苦しみに耐える
- エ 何とも言いようがなくひどいさま
- オ 互いに気持ちがあつたり合うこと
- カ 立派な外見に中身が伴わないこと